

ヒストリーク・トリプルカレンダー1942

ヒストリーク・トリプルカレンダー1948



- 1940年代の代表的な複雑時計
- 18K (4N) ゴールドによる限定モデル
- ボルドーやダークブルーのカレンダー表示
- 新型の手巻きムーブメント
- “トリプル・ゴドロン”のケースバンドと“クロウ”型ラグ

ヴァシュロン・コンスタンタンは、「ヒストリーク」コレクションにコンプリートカレンダーを搭載する2つの新作を加えます。ヴィンテージの雰囲気が出立つこれらの新しいモデルには、1940年代に誕生したアイコン的な時計の独創的で美しいデザインが再現されています。

新しい「ヒストリーク・トリプルカレンダー1942」と「ヒストリーク・トリプルカレンダー1948」では、カレンダー機能に加え、トリプル・ゴドロン装飾のラウンド型ケースや2トーンの文字盤、“クロウ（鉤爪）”と型呼ばれるタイプのラグ、機械式手巻きムーブメントなどが特徴になり、ヴァシュロン・コンスタンタンの当時の複雑時計の典型的なスタイルが甦ります。



一つのスタイル、二つのアイコン

ヴァシュロン・コンスタンタンが今回復刻した 1942 年と 1948 年のカレンダーウォッチは、“実用コンプリケーション”の分野における専門技術や、カレンダー表示に特有のデザインに焦点を当てています。この点はオリジナルモデルの特徴を反映するデザインコードによく表れている一方で、そこには現代的なアレンジも施されています。ステンレススティールによるトリプルカレンダー・モデルや、18K (4N) ゴールドでムーンフェイズ表示も加わるトリプルカレンダー・モデルとして登場した新作は、いずれも直径 40mm のケースを採用し、“クロー（鉤爪）”型のラグを配し、独特の“トリプル・ゴドロン（3 列の溝を彫った装飾）”が施されたケースバンドのように、ヴァシュロン・コンスタンタンの 40 年代の典型的なスタイルを語る数々の特徴が随所に再現されています。

ケースは 3 気圧の防水性が備わり、ボックス型に加工されたサファイアクリスタルの風防は、極めて細身のベゼルを取り付けられるように、若干厚く作られています。また、ケースバックのサファイアクリスタルを通して、コンプリートカレンダーを搭載する新型ムーブメント、キャリバー4400QC とムーンフェイズ付きのキャリバー4400QCL（L はフランス語の Lune=月の略）が見渡せ、これらに施された高級時計ならではの仕上げも鑑賞できます。振動数 4Hz（毎時 2 万 8800 回）の機械式手巻きムーブメントは、ヴァシュロン・コンスタンタンが完全に自社で開発製造を行ったもので、20 世紀半ばに誕生したカレンダーウォッチのオリジナルスピリットを継承しつつ、パワフルな香箱によって約 65 時間という余裕のパワーリザーブを実現しています。

ヒストリーク・トリプルカレンダー1942

新作のまずはじめのモデルは、ステンレススティールで作られ、1942 年にイエローゴールドやピンクゴールド、ステンレススティールで発表された「リファレンス 4240」から着想されています。オリジナルに忠実なエレガントで控えめなこの新作は、センター針による時分表示と 6 時位置のスマールセコンド表示に加え、針による日付と窓による曜日および月表示が備わります。当時の典型的な 2 トーンのシルバー仕上げの文字盤に配されたカレンダー表示の色は、ボルドーもしくはダークブルーから選ぶことができます。また、中央部がサンバーストのサテン仕上げで、外周にアラビア数字が点在するデザインは、各表示機能の視認性を高めるとともに、レトロでシックな表情を上品に引き立てています。



ヒストリーク・トリプルカレンダー1948

次の「ヒストリーク・トリプルカレンダー1948」は、当時のモデルと同様に 18K (4N) ピンクゴールドで作られています。素材のタッチはオリジナルに近く、非常にエレガントなスタイルを時計にもたらしめています。各 200 本限定の新作に再現されている原型は、1948 年発表の「リファレンス 4240 L」です。L はフランス語の Lune = 月を意味し、高精度ムーンフェイズ表示という非常に高度な天文複雑機能を加えたトリプルカレンダーと 6 時位置のスマールセコンドが特徴になっていました。原型の美しいデザインや独特の個性は、現代版のモデルにも生かされています。中央部はシルバーオパーリン、外周部をサンバーストサテン仕上げにして、その微妙な違いが趣を生む文字盤にアプライドのアラビア数字と三角形のインデックスが散りばめられ、バトン型の細い針が回転します。カレンダー表示とムーンフェイズ表示のディスクの色はボルドーもしくはダークブルーを選ぶことができます。そして、ボルドーにはブラウン、ダークブルーには同色のレザーストラップが組み合わせられ、それぞれにピンバックルが付属します。

伝統に根ざすオリジナルスピリット

ヴァシュロン・コンスタンタンは、ジャン＝マルク・ヴァシュロンが 1755 年に創業してから間もなく、初のカレンダー表示機能を開発しました。19 世紀も、コンプリートカレンダーやパーペチュアルカレンダー、あるいはそれにミニトリピーターといった高度な複雑機構を組み合わせたレベルの高い懐中時計を創作して、複雑時計の専門技術に対する熟達ぶりを証明してきました。ヴァシュロン・コンスタンタンが腕時計でカレンダーウォッチを初めて製作した時期は 1920 年にまで遡り、自社の歴史においては、まさに 1940 年代がカレンダーウォッチの黄金期でした。当時作られたさまざまなカレンダー付きのモデルは、ヴァシュロン・コンスタンタンにとって世界市場での販路拡大や名声の確立に大きく貢献しました。「ヒストリーク」コレクションに加わる 2 つの新しいモデルを発表するにあたって参考にしたのも、その頃を代表するアイコンウォッチの「リファレンス 4240」(1942 年) と「リファレンス 4240 L」(1948 年) でした。

原点回帰としての「ヒストリーク」コレクション

ヴァシュロン・コンスタンタンの伝説のモデルの多くは、稀少で収集家の垂涎的になっています。「ヒストリーク」コレクションでは、20 年以上にも渡ってそうしたモデルの復刻に努めてきました。非常に特別なモデルを擁するコレクションは、1755 年の創業以来、自社の歴史を画す、各時代の典型的な創作とされる原点モデルを取り上げています。こうしたアプローチによって誕生した現代モデルは、ヴィンテージの味わいが豊かに息づき、同時に、ヴァシュロン・コンスタンタンの技術遺産や美的デザインの遺産に新たな息吹を吹き込んでいます。

技

術データ

ヒストリーク・トリプルカレンダー1942

リファレンス・ナンバー	3110V/000A-B425 3110V/000A-B426
ジュネーブ・シール	取得
キャリバー・ナンバー	Cal.4400QC ヴァシュロン・コンスタンタン自社開発・製造
駆動方式	機械式手巻き
ムーブメント・サイズ	直径 29.00mm × 厚さ 4.60mm
パワーリザーブ	約 65 時間
振動数	4Hz (毎時 2 万 8800 回振動)
部品数	225
石数	21
表示	時、分、スモールセコンド (6 時位置) コンプリートカレンダー (指針による日付、窓による曜日と月)
ケース	ステンレススティール サファイアクリスタルのシースルーケースバック
ケース・サイズ	直径 40.00mm × 厚さ 10.35mm
防水機能	3 気圧 (約 30m)
文字盤	シルバーのサンバーストサテン仕上げ ブラックのペイントによるアラビア数字、ボルドー／ブルーの日付目盛り
ストラップ	ブラウン／ダークブルーのミシシッピ・アリゲーターレザー アリゲーターレザーによるライナー、手縫いサドルステッチ ラージ・スクエア・スケール
クラスプ	ステンレススティール製クラスプ、ポリッシュ仕上げの半マルタ十字

技

術データ

ヒストリーク・トリプルカレンダー 1948

リファレンス・ナンバー	3100V/000R-B359 3100V/000R-B422
ジュネーブ・シール	取得
キャリバー・ナンバー	Cal.4400QCL ヴァシュロン・コンスタンタン自社開発・製造
駆動方式	機械式手巻き
ムーブメント・サイズ	直径 29.00mm × 厚さ 4.60mm
パワーリザーブ	約 65 時間
振動数	4Hz (毎時 2 万 8800 回振動)
部品数	253
石数	21
表示	時、分、スモールセコンド (6 時位置) コンプリートカレンダー (指針による日付、窓による曜日と月) 高精度ムーンフェイズ
ケース	18K (4N) ピンクゴールド サファイアクリスタルのシースルーケースバック
ケース・サイズ	直径 40.00mm × 厚さ 10.35mm
防水機能	3 気圧 (約 30m)
文字盤	シルバーオパール仕上げ、外周サテンフィニッシュ仕上げ 18K (4N) ピンクゴールドのアプライドインデックス ボルドー／ブルーの日付目盛り
ストラップ	ブラウン／ダークブルーのミシシッピ・アリゲーターレザー アリゲーターレザーによるライナー、手縫いサドルステッチ



VACHERON CONSTANTIN
GENÈVE

ラージ・スクエア・スケール

クラスプ

18K (4N) ピンクゴールド製クラスプ
ポリッシュ仕上げの半マルタ十字

各 200 本限定、ケースバックに“No.X/200”の個別シリアルナンバーを刻印